

【令和6年度 いわき市立宮小学校 学校経営・運営ビジョン】

- 第7次福島県 総合教育計画 (R4～12)
- 未来をつくるいわきの学校教育 ABCプラン
夢に向かってチャレンジする 子供を育みます

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

教育目標
よく考える子ども
心の豊かな子ども
健康でたくましい子ども

地域・保護者の願い

- ・ 思いやりがあり優しい子供になってほしい。
- ・ 何事も最後まで諦めずに取り組む子供になってほしい。
- ・ 人の話をよく聞き、自分の考えを言える子供になってほしい。
- ・ 自ら学ぶ力を身に付けてほしい。

豊かな人間性

- 言語活動・体験活動の充実
- 相手意識を持った行動力・表現力の育成
- 多様な考えを受け入れようとする態度の育成
- 地域のよさを理解し、よりよくしようとする態度の育成
- 道徳科を中心とした、道徳教育の充実

健康・体力

- 各種調査結果を基にした意図的指導
- 運動機会の充実
- 望ましい生活習慣を身につける健康教育の充実
- 安心・安全な環境を整え、状況に応じて行動する力の育成

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ① 個性を生かし、協働しながら、自ら課題解決する力を育成する。
- ② 交流活動や体験活動を通して、豊かな心や創造性を育成する。
- ③ 健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を身に付けさせる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ① 学んだことを既存の知識・技能と関連付けたり活用したりして、学習したことの意義や価値を実感させる。
- ② 学習の過程を重視し、一人一人のもつよさや可能性、進歩の様子など、成長に目を向けた評価を工夫する。

子供の実態

- ・ 誰にでも優しく面倒見がよい。
- ・ 礼儀正しく行動できる。
- ・ 教科学習の大切さや有用性を感じている。
- ・ 既習への振り返りや活用する力が不足している。
- ・ 自尊心が高くない。

子供の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導

- 支援体制の充実
 - ・ 一人一人の教育的ニーズの把握
 - ・ SC、SSWとの連携
- 個別の支援計画・指導計画に基づいた指導

目指す子供の姿

- ・ よく考え、すすんで表現したり説明したりする子供
- ・ 互いのよさを認め、相手の立場を考えて判断し、思いやりのある言動ができる子供
- ・ 何事にもあきらめずにチャレンジし、ともに高め合う子供

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 学習の基盤となる資質・能力の育成
- 体験を通じた「人」「もの」と触れあう学習の充実
- 宮小ならではの教育の充実
- 自尊感情を高める教育活動の充実
- ⇒ 将来を見据えた視点を生かした教育活動

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 「授業スタンダード」を基に学習過程を重視した授業
- 総合的な学習の時間の充実(個人テーマ学習、地域学習)
- 地域交流活動、目的意識を持った表現活動
- 家庭学習の習慣化
- ⇒ 家庭学習スタンダードの活用

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 教職員研修の充実(現職教育、服務倫理委員会)
- I C T機器の積極的な活用
- 学びの連続性を意識した幼小・小小・小中連携
- 子供と向き合う時間の確保
- 地域人材・素材の活用や地域との情報共有・協働
- SCやSSW,各関係機関との連携

安心・安全を守る

- 教育活動全般における安全対策の徹底
 - ・ 危機管理体制の整備・確立
- 安全教育、放射線・防災教育の推進
 - ・ 正しい知識の習得と判断力、行動力の育成
- 人権教育の推進
 - ・ いじめ・不登校への組織的な対応

開かれた学校づくり

- 地域・家庭との連携
 - ・ 育成を目指す子供像の共有
 - ・ 双方向の情報共有
- 地域・家庭との協働
 - ・ 地域人材・素材を活用した学習活動の充実
 - ・ 学校・地域行事への積極的な参加